

課科等分掌ごとのまとめ

学校経営目標	具体的な取り組み内容	達成基準(指標)	自己評価(最終)		総合評価
			達成状況	評価	
<p>1 社会人を育てる 【キャリア教育の充実】</p> <p>1)3年間の体系的指導体制を周知し、学年ごとに視野がひろがるように実践する。</p> <p>2)ガイダンス機能を充実させ、インターンシップ参加者と社会人講師の活用を図る。</p> <p>【職業人としての倫理観】</p> <p>1)基本的な生活習慣の確立と挨拶の励行。</p> <p>2)生徒指導件数減少を目指し、関係機関や地域との連携による指導を行う。</p>	<p>【キャリア教育の充実】</p> <p>①「教務課」科目選択ガイダンス機能の充実 ②「進路課」学年の要望とキャリア教育に沿った進路ガイダンスの実施</p> <p>③[1年団]面談計画の計画的有効運用 ④[2年団]LHRでのガイダンス機能充実 ⑤[3年団]応募前職場見学への積極的参加 ⑥[1年団・2年団A・C・M・E・R]社会人講師活用 ⑦[全専門科]インターンシップ参加</p>	<p>①生徒にわかりやすい資料作成。 ②学校自己評価アンケート<教職員>質問1「きめ細かい進路指導」,2「系統的進路指導」が昨年度を上回る。 ③年3回の面談実施(4・7・9月) ④わかりやすい資料作成。 ⑤就職希望者全員参加 ⑥年1回以上 ⑦A-90% C-20% M-10% E-25% Ch-50% R-50% D-就職希望者のうち70%</p>	<p>①○改訂済。さらに検討・工夫していく。 ②×「きめ細かい…」 2.2 (H27 1.8) ×「系統的…」 2.1 (H27 2.1) ③○実施済 ④×充分ではなかった ⑤○参加率100% ⑥○1年団—実施済 ○2年団—実施済 ○A・R —実施済(1学期) ○C —実施済(3学期) ⑦○A —100% ×C —11% ×M —8% ○E —25% ×Ch —40% ○R —78% ○D —80%(12名/15名)</p>	<p>○ 11 × 6</p>	<p>B 得点率 50%</p>
<p>【豊かな人間性】</p> <p>1)社会貢献活動に真摯に取り組む。</p> <p>2)部活動の加入率を上げ、戦績を向上させる。</p>	<p>①[生徒課]時間の遵守・規範意識の高揚 ②[進路課]面接指導による礼法向上 ③[1年団]時間厳守・始終業挨拶徹底</p> <p>④[2年団]基本的な生活習慣の確立</p> <p>⑤[3年団]遅刻率の低下</p> <p>⑥[A]欠席・遅刻・早退等の減少・実習開始時集合等の徹底 ⑦[C]無断欠席・遅刻の減少・始終業挨拶徹底 ⑧[M]無断欠席・遅刻の減少 ⑨[E]遅刻の減少・始終業挨拶徹底 ⑩[Ch]遅刻・欠席減少 ⑪[R]遅刻減少 ⑫[D]時間を守る ⑬[全普通教科]授業規律の徹底</p>	<p>①遅刻率3.0%以下・全特別指導件数40以下 ②教員アンケート評価 ③欠席率3.0%以下・皆勤者各学期50%以上・学校自己評価アンケート生徒挨拶項目2.0以下 ④欠席率2.0%以下・遅刻率2.0%以下・特別指導件数15以下 ⑤通年遅刻率3.0以下・10月以降遅刻率を前年比マイナス・学校自己評価アンケート生徒挨拶項目2.0以下 ⑥前年比-30%・実習集合定着率100%</p> <p>⑦無断欠席0・遅刻3.0%以下・挨拶100% ⑧無断欠席・遅刻0 ⑨遅刻率3.0以下・挨拶習慣授業アンケート90%以上 ⑩遅刻率・欠席率ともに2.0%以下 ⑪遅刻率1.0%以下 ⑫遅刻率3.0%以下 ⑬規律達成度90%以上(担当教員評価)</p>	<p>①○遅刻率3.0% ×特別指導69件 ②×あいさつ項目 できているとの回答→52% ③欠席率3.0%以下 → ○A・M・E・Ch・R・D(6クラス) ○学年トータル 1.0% 皆勤者50%以上 → ○M・H・R(3クラス) ○学校自己評価アンケート生徒挨拶項目1.7 ④×欠席率 3.43% ×遅刻率 3.6% ×特別指導45件 ⑤×遅刻率 4.3% ×アンケート結果2.2 ⑥前年比 ×欠席 -10%(590人→532人) ○遅刻 -30%(668人→466人) ○挨拶は、ほぼ100%できている。 ⑦○無断欠席 0件 ×遅刻率 7.6% ○挨拶 ほぼ100% ⑧○無断欠席・遅刻 0件 ⑨○遅刻率2.0% ⑩×遅刻率3.5% ×欠席率3.2% ⑪○遅刻率0.4% ⑫×遅刻率6.3% ⑬×肯定回答39%</p>	<p>○ 12 × 11</p>	
<p>【豊かな人間性】</p> <p>①[総務課]社会貢献活動活性化</p> <p>②[生徒課]部活動の活性化 ③[厚生課]救急法講習実施 ④[全学年団]社会貢献活動 ⑤[全専門科]社会貢献活動 ⑥[図書課]読み聞かせ活動 ⑦[厚生課]ボランティア校内清掃活動</p>	<p>①2年生までに3日以上、3年生2学期までに5日以上 ②実質加入率85%以上 ③全教職員・生徒実施 ④全員5日以上(3年生の2学期までの達成) ⑤全員参加 ⑥子供祭り等、行事に参加し →児童書・文学書貸出し冊数 前年度比+15% ⑦ボランティア委員・美化委員で月1回の校内清掃とボトルキャップ回収</p>	<p>①○3年生は達成 ×2年生達成率20.6% ②×加入率73% ③○教職員実施済 生徒は1年次「保健」で全員実施 ④×1年団—2学期末までに1日実施済み 原因:(天候不良のため) ×2年団—未実施の生徒が各科数名 ○3年団—261人/261人達成済 ⑤○上記④に同じ ⑥○7/15・22に実施済 ⑦○校内清掃・キャップ回収ともに実施</p>	<p>○ 7 × 4</p>		
			<p>11/17 65%</p>		
			<p>12/23 52%</p>		
			<p>7/11 64%</p>		

課科等分掌ごとのまとめ

学校経営目標	具体的な取り組み内容	達成基準(指標)	自己評価(最終)		総合評価	
			達成状況	評価		
2 専門力を育てる 【思考力・表現力・問題解決能力の育成による確かな学力の定着】 ①【教務課・地公・数学・理科・保体】ICT活用 ②【進路課】進学者対象補習 ③【1年団】確かな学力の定着 ④【2年団】学習習慣確立 ⑤【国語】漢字検定実施 ⑥【数学】数学検定実施 ⑦【C・E・芸術・家庭】提出物による学習習慣確立 1)基礎・基本を大切に授業に取り組み、ICT活用等で授業改善を行う。 2)工業科の課題提出を厳格にさせるなど工夫を凝らし、学習習慣を確立させる。 【未来のスペシャリストを育成する】 ・資格取得を目指す。 ・各種競技会等に積極的に参加する。 1)魅力ある工業科をめざし、ものづくりを通して自信と意欲を持たせる。 2)大学や高専との連携を強化し、専門性を活かそうとする生徒を育てる。	【思考力・表現力・問題解決能力の育成による確かな学力の定着】 ①【教務課・地公・数学・理科・保体】ICT活用 ②【進路課】進学者対象補習 ③【1年団】確かな学力の定着 ④【2年団】学習習慣確立 ⑤【国語】漢字検定実施 ⑥【数学】数学検定実施 ⑦【C・E・芸術・家庭】提出物による学習習慣確立 【未来のスペシャリストを育成する】 ・資格取得を目指す。 ・各種競技会等に積極的に参加する。	①公開授業(研究会)実施 ②参加者アンケートによる ③赤点0 ④レポート等の期限厳守 ⑤2年回実施、3級合格60%以上 ⑥年3回実施、3級以上合格者増(昨年度7名) ⑦提出率100%	①○教務課及び、各教科ともにICTを活用 ○知恵の杜シート提出数 6月(25)、11月(30) 6/10 6 ②○良好であった ③×赤点保有生徒28名(2学期末時) ④○週末課題期限厳守で野提出指導で成果あり ⑤×2回実施(3級合格54.5%)※2級33.3%準2級18.2% ⑥○2回実施済(3級12名・準2級2名合格)3月も実施 ⑦×C-ノート90%以上、課題70% ○芸-100% ×E-1年98%、2年86%、3年97% 家-97%	○ 6 × 4	b	
		建築	①資格・検定 ・2級建築施工管理10% ・福祉住環境コーディネーター25% ・建築CAD3級100% ②設計コンペ、建築設計競技会とも2名以上入賞 ③ものづくり中国大会入賞 ④標準テスト全国平均以上(50点以上)	①○建築施工管理 → 12.1%(4名/33名) ×福祉住環境 → 5.8% 建築CAD ○3級 → 100%(5名/5名) ○2級 → 100%(2名/2名) ②○工業高校設計競技会 優秀賞1名 佳作2名 ③○中国大会6位/岡山県大会(1/28)優勝 ④×実施せず A 課題研究にて峰南寮食堂テーブル7台製作納品	○ 5 × 2	b
		土木	①測量競技会中国大会出場 ②土木系製図コンテスト1~3年銅賞以上 ③資格・検定 ・測量技術2級70% ・計算技術4級70% ・計算技術3級50% ・PC利用技術3級50% ・土木施工管理技術2級受検者の20%以上	①×出場ならず ②○中国大会 3年金賞 1・2年銅賞 ③○測量技術 → 98% ○計算技術3級 → 73%合格(29/40名) ※4級は実施しない ○PC利用技術 → 60%合格(24/40名) ○施工管理技術 → 21%	○ 5 × 1	a
		機械	①ものづくりコンテスト(旋盤、溶接)参加 ②つやまロボコン参加 ③資格・検定等 ・普通旋盤3級70% ・機械保全3級70% ・計算技術3級80% ・基礎製図70% ・機械製図50% ・情報技術3級80% ・工業技術顕彰取得 ・全国製図コンクール「最優秀特別賞」	①○2名参加し、2名とも県大会出場 ②○参加した ③×旋盤 0% ×機械保全 67% ○計算技術 83% ○基礎製図 90% ○機械製図 58% ○情報技術85% ○工業技術顕彰取得できた ×全国製図コンクール「優秀賞」	○ 7 × 2	b
		電気	①資格取得 ・計算技術3級60% ・情報技術3級60% ・第二種電気工事士昨年(13名)以上 ②ものづくりコンテスト ・県3位以内、(中国大会出場) ③つやまロボコン参加	①○計算技術 72.5% ×情報技術 23.1% ×電気工事士 8名(上期) 1名(下期) 合計9名 ②×2名参加 4位入賞 ③×参加できず	○ 1 × 4	c
		工業化学	①資格取得の推進 ・標準テスト平均60以上 ・1年危険物丙種35名以上 ・2・3年危険物乙種4類40名 ・危険物乙種全類10名以上	①×標準テスト → 47点 ○危険物丙種 37名昨年度1.5倍 ○危険物乙種 28名昨年度1.3倍 ×危険物乙種全類 1名 ○ジュニアマイスター「ゴールド1 シルバー」15 昨年度1.8倍 スーパーエンパイロメント 2年目の取組研究中 ※危険物については途中経過 今後も機会あり	○ 3 × 2	b
		電子機械	①つやまロボコン参加(2チーム) ②資格取得等 ・計算技術3級80% ・情報技術3級85% ・基礎製図80% ・初級CAD70% ・ITパスポート4名 ③ジュニアマイスター ・ゴールド3名 ・シルバー5名 ④ものづくりコンテスト参加 ・溶接、電子回路組立、旋盤	①○2チーム参加 ②○計算技術3級 93% ×情報技術3級 65% ○基礎製図 100% ○初級CAD 85% ×ITパスポート 0名 ③×ゴールド 2名 ○シルバー 7名 ④○溶接 7位入賞 ○電子回路組立 3位入賞	○ 7 × 3	b
					5/7 71%	
			5/6 83%			
			7/9 78%			
			1/5 20%			
			3/5 60%			
			7/10 70%			

B 得点率 56%

課科等分掌ごとのまとめ

学校経営目標	具体的な取り組み内容	達成基準(指標)	自己評価(最終)		総合評価	
			達成状況	評価		
2 専門力を育てる ※前頁続き	【未来のスペシャリストを育成する】 ※前頁続き	デザイン ①各種検定合格 ()内合格率目標 単位:% ・レタリング技能3級(66.9)・4級(76.1) ・広告技能2・3級 ・グラフィックデザイン2級(80.7)・3級(75.4)	①レタリング○3級 75%(27名/36名) ○4級 86%(38名/44名) 広告技能○3級 100%(5名/5名) ○4級 57%(4名/7名) グラフィックデザイン検定 ○3級83%(34名/41名)○2級100%(12名/12名) ※ジュニアマイスターゴールド取得者 4名(初)	6/6 100%	a	前頁
3 地域に貢献する学校づくり 【出かける活動】 1)津山の活性化に協力し、出前授業・公民館講座・施設訪問等を促進する。 2)津工オープンファクトリーの規模を拡大し、来場者や参加生徒の増加を図る。 【知らせる活動】 1)中学生への広報(学校案内、ホームページ、オープンスクール、説明会等)の充実。 2)地域や保護者への広報は、ニーズに応じた計画的提供を工夫する。 【来てもらう活動】 1)学校公開、授業公開、PTA行事を充実させ、参加者数を増加させる。 2)オープンスクールの内容を一層充実させ、魅力づくりを行う。	【出かける活動】 ①[総務課]津山市等との連携 ②[全専門科]オープンファクトリーの充実と活性化 ③[芸術]部活動部員派遣 【知らせる活動】 ①[教務課・生徒課・進路課・図書課・国語・全学年団・A・C・M・E・R]各種情報発信 ②[総務課]広報の充実 ③[進路課]生徒保護者担任に向けた情報提供 【来てもらう活動】 ①[総務課]オープンスクール開催 ②[進路課]PTA進路研修会・校内企業説明会等開催 ③[1年団]本校3年間の魅力に触れてもらう取組 ④[A]住宅設計コンペ表彰式招待 ⑤[C・M・Ch]オープンスクールの充実 ⑥[国語]津工川柳大賞について、美作地区の全小中高へ呼びかけ ⑦[数学]数学検定開催	①つやま産品まつり参加 ②全科-オープンファクトリー参加 A-出前授業 C-出前授業・東小まつり参加 M-出前授業・東小まつり参加 E-出前授業(小学校3校以上) 東小まつり参加 Ch-環境講座等15ヶ所 参加生徒 延100名 R-出前授業(小学校3回) D-市内イベント・工作教室(参加生徒増) ③演奏・パフォーマンス実施	①○11/19・20実施 ②○オープンファクトリー → 開催、参加済 ○A-10/28 勝加茂小 ×C-出前授業実施しなかった ○1月東小まつり ○M-10月 成名小・勝加茂小 ○E-11月に3校 1月東小まつり ○Ch-15ヶ所開催70名参加 ○R-8月 公民館にて 11月 小学校にて開催 ○D-高倉公民館、久米南道の駅でワークショップ 参加生徒数は増加した。 ③○吹奏-各種地域イベント参加 ○書道-書道パフォーマンス実施(3件) ○美術-2学期末に美術部展開催	○13 ×1 13/14 93%	a	
		①教務課-資格取得・進路情報発信 生徒課-課通信 進路課-進路新聞 学期1回以上 図書課-毎月1回 国語-年3回以上 1年団-学年通信 随時発行 2年団-学年通信 学期3回以上 3年団-学校ブログ活用 A-HP・ブログ更新 各教員1回以上 C-科通信 年5回以上 M-科新聞(BIG EYE)発行 E-科通信 年1回以上 R-科通信 年3回 ②学校HPの充実 ③学校自己評価アンケート<保護者>質問1「きめ細かい進路指導」<生徒>質問3「進路考える機会」、質問4「進路指導が役立っている」による評価	①○教務課-生徒向けには順調に情報を発信 今後、保護者への情報発信に工夫 ○生徒課-5回発行 ○進路課-1学期発行済 ○図書課-「リプロ」毎月発行 ○国語-発行済 ○1年団-随時、発行した ×2年団-1年間に4回発行 ×3年団-写真掲載都合もありあまり活用できず ×A-できていない ○C-発行済 ○M-発行している。 ○E-発行済 ○R-各学期に1回発行 計3回 ②×発信までに時間がかかる事もあり、タイムリーな発信を行えない時もあったが、ほぼ順調に発信 ③○肯定回答 進路に係る質問の肯定回答 生徒-76% 保護者-71%	○12 ×3 12/15 80%	a	
		①参加者 夏季600人・秋季100人を目指す ②参加者アンケートによる評価 ③オープンスクールでの「はじめの第一歩サンプル版」配付 ④保護者70%以上参加 ⑤C-わかりやすさに配慮 M-80名受入 ⑥10校以上の参加を募り、多くの小中学生に本校の魅力を発信する ⑦本校を受験会場とし、事前対策講座(中学生)実施を検討	①×夏季493人・秋季51人(延べ人数)と目標を達成できなかった。 ②OPTA研修会-「大変有意」の旨の回答大多数 ○企業説明会-11月開催済 ③○配付済 ④×2名のみ参加 ⑤○C-実習講座名を工夫し、わかりやすくした。 ○M-120名受入 ○Ch149名参加 ⑥×次年度に向け委員会立上げ ⑦○本校生徒対象実施済(年間3回)中学生対応については、次年度に向けて計画済	○7 ×3 7/10 70%	b	